

## 鯉ヶ沢町病後児保育通信

平成 28 年

夏号

## おひさま



## 《病後児保育ってなに?》

～「もう一日休ませたいけど、仕事もあるし・・・」そんなお母様の味方!～

病後児保育とは、病気の回復期にあるお子さまで、集団保育等が困難な場合、かかりつけの医師の指示の下、適切な処遇が確保される施設において、一人ひとりの体調に合わせて一時的にお預かりするものです。

当園の病後児保育を『おひさまルーム』といい、専用の保育室で看護師と保育士などの専門のスタッフがお預かりします。子どもは、熱が下がったり、痛みがなくなるとすぐに遊びはじめ、元気そうに見えます。でも、1日～2日程度ゆったり過ごし、体力の回復を図ることが大切です。

## 【子どもの病気&amp;ケガシリーズ】

～熱中症編～

## 熱中症に気をつけましょう

梅雨の蒸し暑さが過ぎ、ジリジリと暑い夏本番がやってきます。この時期、特に気をつけたいのが熱中症です。乳幼児は体も小さく、自ら意思表示をして水分をとることが難しいので、脱水症や熱中症にならないよう、周囲の大人が気をつけましょう。熱中症は、炎天下だけでなく、湿度の高い室内でも起こり得ます。通気性のよい服を着せこまめに水分を与え、外出時にはきちんと帽子をかぶらせるなどしましょう。体調の変化に気をつけ暑い夏を健康に乗り切りましょう!

《利用者の声をご紹介します》  
おひさまルーム ありがとう!!

うちの子(4歳、男の子)は、生後10ヶ月頃から保育所に入りました。そして、今までに5、6回(たぶん年に1回以上)おひさまルームのお世話になっています。

風邪をひいて、熱は下がったけれども、まだいつもの元気がなくて、でも、明日は仕事を休めない、「さて、どうしよう?」というときに利用しています。先月も2回利用したのですが、看護師さんと保育士さんがみてくださるので、安心して仕事に行けます。迎えに行くと、その日の様子(体調、熱の有無、食欲、眠り等)を詳しく教えてくださるので、「明日もまたおひさまルームにお願いしようかな」とか、「明日は通常の保育で大丈夫だね、良かった～!」と判断することもできます。

そういえば、利用する前日に、子どもに「明日はおひさまルームだよ、どう?」と聞くと、看護師さんに遊んでもらって楽しかった記憶があるのか、「わかったよ!いいよ!」と楽しみにしていました。通常保育では、何人かの中の1人ですが、おひさまルームでは、看護師さんや保育士さんと1対1なので、べったりと甘えられるのが心地いいのかもしれない。

おひさまルームの運営は、たくさんの方の御協力があってこそだと思いますので、感謝の気持ちも忘れずに利用したいと思います。

おひさまルーム、いつも、ありがとうございます!!

## 《病後児保育『おひさまルーム』ご利用について》

☆日 時：月曜日～土曜日 午前7時30分～午後6時

※ただし、日曜日、祝日、お盆(8/13～15)、年末年始(12/29～1/3)、

鯉ヶ沢こども園の行事等により利用困難な日はお休み

☆料 金：500円～2,000円(給食・おやつ代含む) ※利用条件により料金が異なる

☆対象児童：鯉ヶ沢在住の満1歳から小学6年生までのお子さま

☆申込手続：利用日前日までに鯉ヶ沢こども園へ電話申込のうえ、利用申請書を提出 ※事前に登録申請が必要

☆持参する物：着替え・オムツ・医師の処方する薬など

☆その他：いつ頃から病後児保育の利用が可能なのか、必ず医師に確認して下さい。

◇詳しくは鯉ヶ沢こども園にお問い合わせください。(☎72-2067)

※病後児保育通信は不定期発行です。町ホームページに掲載しますので、次号以降はそちらでご確認ください。

